

2022.11

嵯峨嵐山文華館

## 嵯峨嵐山文華館 2023年企画展スケジュールのお知らせ

嵯峨嵐山文華館は、2023年の競技かるた大会、「第4回ちはやふる小倉山杯」に合わせ、「絵で知る百人一首と伊勢物語」を開催いたします。春からは橋本関雪生誕140周年を記念し、橋本関雪記念館・福田美術館の3館で橋本関雪展を予定。夏は扇の展覧会でさまざまに絵付けされた扇子の数々の展示を、秋は福田美術館との2館共催で江戸絵画の展示を予定しております。今年も文華館ならではのラインナップに、どうぞご期待ください。

### | 嵯峨嵐山文華館 企画展スケジュール |

2023.1.28～2023.4.9

絵で知る百人一首と伊勢物語

2023.4.19～7.3

橋本関雪生誕140周年 KANSETSU –入神の技・非凡の画–

2023.7.14～10.9

ファン・ふあん・Fun (仮)

2023.10.18～2024.1.8

ゼロからわかる江戸絵画 (仮)

2024.1.18～4.7

よきかな、源氏物語 (仮)

嵯峨嵐山文華館広報事務局 (ウインダム内)

TEL : 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email : 嵯峨嵐山文華館広報事務局 [samac@windam.co.jp](mailto:samac@windam.co.jp)

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「嵯峨嵐山文華館」広報事務局

担当：沼澤、多田



嵯峨嵐山文華館  
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

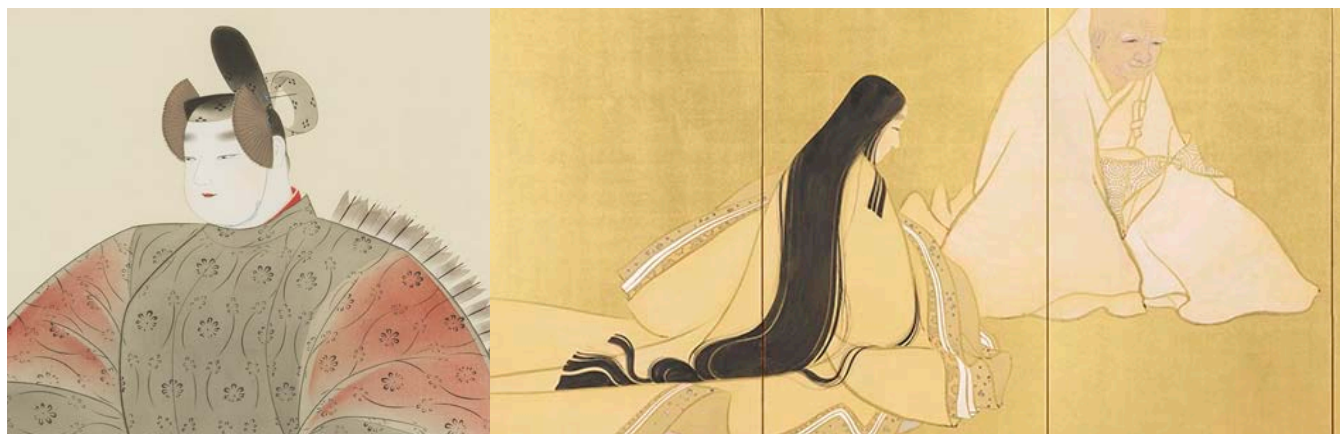
2023.1.28～4.9

## 絵で知る百人一首と伊勢物語

---

嵯峨嵐山文華館では恒例の、百人一首にまつわる企画展です。

今回に2階畳ギャラリーでは、百人一首に選ばれた歌人の中でも平安の美男子と伝えられる在原業平が主人公の「伊勢物語」にフォーカス。「むかし、男」という言葉で始まる『伊勢物語』は、恋多き業平が和歌を中心に展開する歌物語の傑作です。「初冠」や「東下り」といった代表的な段を、その場面を想起させるような絵画とともに読み解きます。百人一首と『伊勢物語』、二つの古典文学により親しんでいただけましたら幸いです。



2023.4.19～7.3

## 橋本関雪生誕140年 KANSETSU –入神の技・非凡の画–

---

橋本関雪は明治16年（1883）に兵庫県で生まれ、儒学者である父の影響を受けて漢籍詩文を学び、同時に絵を好んで画筆にも親しみました。四条派の画法を修めた闊達な筆さばきや中国の古典への深い造詣に裏打ちされた彼の芸術は、文展など数々の展覧会にて早熟な才能を示し、京都画壇の重鎮として活躍しました。この度は生誕140年を記念し、白沙村荘 橋本関雪記念館・福田美術館・嵯峨嵐山文華館の3館共同で大規模な回顧展を行います。



2023.7.14～10.9

## ファン・ふあん・Fun (仮)

---

扇の季節に合わせて、京都の老舗扇子専門店にご協力のもと、近世～近代の日本画家によって扇に描かれた原画や、扇にまつわる作品を展示いたします。

※右の作品例は変更する可能性があります。



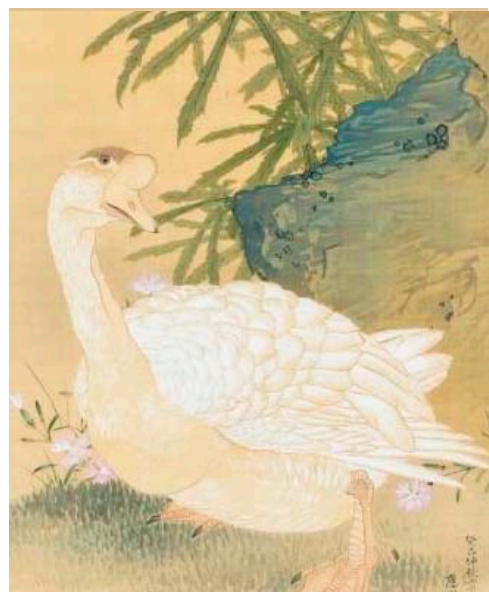
2023.10.18～2024.1.8

## ゼロからわかる江戸絵画 (仮)

---

円山応挙、伊藤若冲、長沢芦雪…近年人気の江戸絵画。わからないことが多い近世の作品ですが、初心者の方でも楽しめる展覧会を、嵯峨嵐山文華館と二館共催で開催いたします。当館未公開の作品をはじめ、福田美術館の人気江戸絵画が揃います。

※右の作品例は変更する可能性があります。



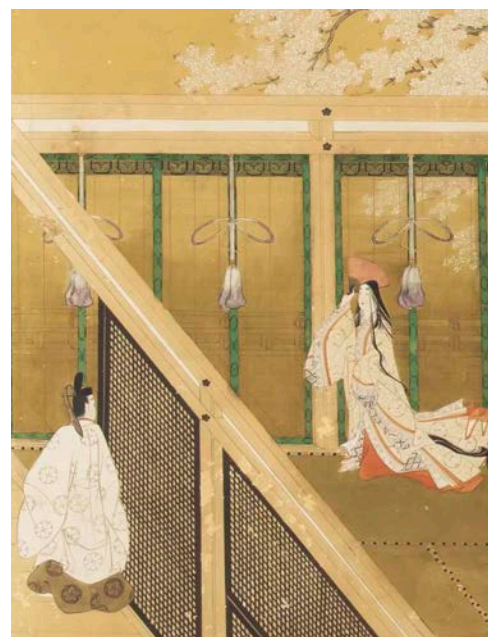
2024.1.18～4.7

## よきかな、源氏物語 (仮)

---

百人一首にも選ばれた歌人、紫式部によって制作された源氏物語は、平安時代中期に成立した長編物語の傑作とされ、世界中で読まれています。本展では、百人一首にまつわる作品や、源氏物語を題材にした作品を展示いたします。

※右の作品例は変更する可能性があります。



## 嵯峨嵐山文華館について

### 百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入ると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む二階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1F常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。  
また2Fには120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ろぎいただけます。



## 嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111 (FAX) 075-882-1103
- メールアドレス：[support@samac.jp](mailto:support@samac.jp)
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
  - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
  - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩13分
  - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分
- 設立：
  - 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
  - 2011年 一時休館
  - 2012年 リニューアルオープン
  - 2017年 一時休館
  - 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

- 休館 不定休・展示替期間・年末年始（12/30～1/1）
- 料金 <嵯峨嵐山文華館>
  - 一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学/¥300(250)
  - 障がい者と介添人1名まで 各¥500(400)<福田美術館との二館共通券>
  - 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550
  - 障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

広報：中島真帆